

平成 28 年度 女性委員・会員と議会の意見交換会 (記録)

【1 班】テーマ：『子どもの教育環境について』

【主な発言】

- ・部活を指導する先生不足で、子どもたちの部活の数が減らされる。
- ・少子化の影響でクラス替えができない。
- ・1クラスの弊害がある。
- ・競争して勉強しないと子どもがだめになる。
- ・中学校の統合を(複数学級がない)。
- ・胎内市の大事な子どもたちなので、いじめがあったら速く対応するので言ってほしい。
- ・学力テスト 600 点満点⇒ 300 点台の子どもが3、4人。平均 60 点(6 教科)
- ・大きくなった子どもたちの勉強する場所がない。
- ・図書館が充実していない。(カビ臭い、暗い)
- ・生涯学習センター新築・移転の予定がないのなら、中条高校の空き教室に移転してはどうか？
- ・青少年の森センターの場所がわかりづらい。
- ・学校で取る各種アンケート結果を保護者にも開示してほしい。
- ・帰りのバスを増やしてほしい。(小・中学校)

以上

【2班】テーマ：『健康・福祉・少子化対策・子育てについて』

【主な発言】

- ・妊婦健診や第3子の保育料が無料で、近隣他市町村よりもサービスが充実していると思う。
- ・障がい者を預かってくれる施設が多い。
- ・空き家が多い。
- ・あかね町に住んでいるが、現在は人も増えていていいが、これから先、空き家が増えていくのではないかという不安がある。
- ・空き家に関しては、今年度から市でも空き家バンク制度を始めるなど、空き家の解消に努めているところである。
- ・待機児童の解消、子どもを預かってくれる場所が必要。
- ・子どもが結婚したので、住宅を2世代住めるようリフォームしたが、家を別に建ててそちらに住んでいる。今の若い人たちは親と同居をしない。
- ・高齢化が進んでいる。
- ・黒川の山手では学校に通うのもままならない。
- ・消雪対策をして欲しい。
- ・山手から町場へ、人が流れている。
- ・駅を新しくするのも良いが、人が増えるような政策を考えているのか。各課ごとに自分たちの仕事だけを考えていて、連帯感が感じられない。

以上

【3班】テーマ：『地域資源を活かした農林漁業の振興について』

【主な発言】

《米粉について》

- ・値段が高い。
- ・使い勝手が良くない。
- ・JAでしか買えないので、入手が困難である。
- ・12袋単位でしか販売していないので、少量でも買えるようになればいい。
- ・米粉パンを食べてみたが、パサパサしている。
- ・ブランド化、イメージアップは必要である。
- ・PR窓口を設けてほしい。
- ・サテライトカフェがあったほうが良い。
- ・アレルギー対応には効果的である。
- ・パッケージを工夫した方が良い。
- ・かわいいイメージがあると口コミで広がる。
- ・組織づくり、リーダーが必要である。
- ・板額御前とコラボ（パッケージ）してはどうか。
- ・米自体を食べるのが優先ではないか。
- ・なぜわざわざ米粉にする必要があるのか。

《その他》

- ・公民館の調理室が汚い、古い、暗い。
- ・ほっとHOTの調理室を一般の人が借りられないのは不便である。
- ・中条体育館を取り壊した後、その場所はどのように活用するのか。

以上

【4班】テーマ：『ライフラインについて』

【主な発言】

《道路について》

- ・道幅が狭い交差点で脇に草が生えていると、横からくる車がよく見えず危険なので、草刈りの交通指導を行って欲しい。
- ・舗装や街灯の設置に関しては他の市町村より良いと感じているが、夜、ジョギングをする人たちの反射材を付けている割合は 8 割くらいである。できたら全員反射材を付けるようにして欲しい。
- ・道路の端に危ない物があつたりするが、どうにかならないか。
- ・LEDの防犯灯はとても良いと思うが、できたら全部の電柱につけて欲しい。各地区の議員も実際に歩いてみて調べてみてはどうか。
- ・冬場の交通安全や防犯対策をしっかりと行ってほしい。
- ・先般つつじが丘地内にて 1 日に 2 回事故があつたが、この辺りは事故が多い場所なので、なんとかならないか。
⇒議員 この道路は時速 30 km 制限であり、公園前には歩道もある。電柱に張り紙もしてある。警察と信号機設置について話し合っている段階である。
- ・歩道がないと年をとってからの配りものが心配である。認知が低下した場合の道路の横断も危険である。カーブで見通しの悪い場所もある。
2025 年には団塊の世代が 75 歳以上になり、更に深刻な事態になる。行政と議員が一緒に力を合わせて取り組んで欲しい。
- ・80 歳代の事故が非常に多い。デマンドタクシーの利用も不便な部分が多いので、免許返納ができない人もいるがなんとかならないか。
- ・中条小学校の通学路になっている大川町の通りが狭く、通学の際危険であり、降雪時は特に危ない。今後、空き家がでたら市で確保して、道を拡張して欲しい。

⇒議員 以前からその話はあるが、実際には難しい。除雪をうまく行うことや、通学時間をずらす方法もある。

- ・クラレ前の道路を拡張して欲しい。この道が狭いので、中条すこやかこども園を選ぶ人が少ないのではないか。また、ふれすぼ胎内に中条中学校の生徒が通っていることも考慮して欲しい。

⇒議員 予算の関係もあり、簡単にはできないが、県議にも頼む必要がある。

- ・中条小学校だけなかよしクラブが別の場所になっているが、もともと学校内にあったので戻してはどうか。現在の場所である総合グラウンド交流棟までの送り迎えが危ない。
- ・川にフタをすれば道路が広がる。

《公園整備について》

- ・ふれすぼ胎内に公園があればよい。
- ・高野では老人会と子どもたちが一緒になって草刈等を行っているが、みんなでしかけないと地域の活性化は難しい。
- ・祭りの獅子踊りのやる人が減った関係で今年からなくなったが、その代わりに子どもたちが喜ぶようなくじ引きや出店を高野出身の人たちにも呼びかけて実施した。
- ・交通公園を造って欲しい。昔陸上競技場の脇にあったような小さなものでよいので、子どもたちのためにも必要である。三条には立派な交通公園があり、自転車も借りられる。

⇒議員 自動車学校を借りる方法もある。公園は多いが機能がそろってないところが多い。特にトイレ。

- ・樽ヶ橋に関しては、アピールが足りない。道の駅らしくない。胎内をアピールできるものがない。

⇒議員 市街の人に来てもらわないと駄目である。

道の駅はいろんな所にあるが、赤字のところほとんどである。

民間でやってもらう事も必要であり、行政はその後押しをやる方法もある。

- ・岩室温泉は農家のお母さん方が、自分たちで作った野菜を持ち寄って料理を提供してくれる人を呼んでいる。

《除雪について》

- ・除雪車が通った後、家の前に大きな雪の塊が置かれていることがあるが、もっとうまく除雪して欲しい。
⇒議員 区長を通して業者に強く言うことが大事。
- ・新潟市では信号機のところにスコップを置いて、通る人に雪のけを協力してもらっている。
- ・降雪時は、朝早く通勤する際、除雪が全部終わっているか不安である。優先順位があると思うが、できるだけ早めに全部終わらせてほしい。

《その他》

- ・受動喫煙防止のため、集落センター等に禁煙のステッカーを貼って欲しい。
⇒議員 この問題に対しては、個人毎に対応して欲しい。

以上